

重点指導項目 「自己肯定感」

指導のポイント「自分を振り返り、他者との関係の中で生かされていることに気づき、自分も他者も大切にし、よりよく生きようとする心を育てたい」

特別活動 「進路講演会」

<ねらい>

専門家による講演から、自分の将来に対する期待感を育み、進路に対する志望を明確にし、その実現に向けて努力して行く中で、自信を身につけ自分を大切にする気持ちを育てる。

<流れ>

1 主な実施内容

- ・模擬試験の結果を踏まえて、今後どのような学びが求められるか
- ・弘前大学ドリーム講座
(講師：弘前大学教授等)
- ・THEプロフェッショナル
～地域の達人から学ぶ～
(社会人講話)
- ・『カタリバ』
(大学生によるピアカウンセリング)

2 進路に対するイメージや目標を明確にし、意思決定をしよう。

高校生活での課題をみつ けよう!

- ・目標があることは、学習面、生活面、精神面でも充実感をもたらす、プラス効果につながる。
- ・かけがえのない自分の人生を主体的に生きようとすることは大切だ。
- ・目標を定め、実現のために努力することは困難にも耐える強い自分を作るうえで大切だ。

教科等 家庭基礎

「自分らしい生き方と家族」

<ねらい>

家族・家庭の意義や社会との関わりについて理解し、男女が協力して家庭や地域の生活を創造する能力や態度を育てる。

<流れ>

1 人生80年の時代において、自分のこの先の人生設計を立ててみよう。

人生すごろくを作成しよう!

- ・起こりえるステージキーワードから、主体的に自分の人生を生きようとする気持ちを育てることが大切だ。
- ・将来の夢や希望を実現させるための具体策を考え、準備してみることは大切だ。
- ・人生は良いことばかりではなく、辛い出来事も起こりえることを予測して、のりこえる力を育てることが大切だ。

2 自分の人生設計を発表し、他生徒の「人生すごろく」を見せてもらうことで他者を受け入れ、また自分の人生の参考にしてみよう。

ホームルーム活動

「自分を発見するペーパーワーク」

<ねらい>

思春期から青年期への移行期において、自分自身をみつめ、そして自分と友人、家族、社会との関わりについて考えさせる。

<流れ>

1 自分の歴史を書いてみよう。 「こんな人と出会ってきた」 「こんな人に憧れていた」 「こんな人と自分を比べていた」 「こんな人がイヤだった」

2 どんなことを親にしてもらったかを思い出してみよう。どんなことを親にしてあげたかを思い出してみよう。

「かけがえのない」って どういうこと?

- ・そのものが無くなった時に、代わりになるものがない大事ななもの。
- ・自分の命、家族の存在、友人の存在のありがたさ。
- ・それを失わないような関わり方を考える。感謝の心を持つことは大事だ。
- ・自分を大切にすることで、他者も大切にできる。